

JPMS 28適合変性エポキシ樹脂プライマー

シントーKTプライマー

さわやかな環境の提案



シントーKTプライマーは、変性エポキシ樹脂を主成分として、無公害防錆顔料を配合したクロム・鉛等の重金属を含まない高性能の常温乾燥形の錆止め塗料です。

亜鉛めっき素材への付着性に優れており、JIS K 5629「鉛酸カルシウムさび止めペイント」の代替塗料として最適です。

■特長

- ① JPMS 28「一液形エポキシ樹脂さび止めペイント」の品質基準に適合します。
- ② クロム、鉛等の有害な重金属を含有していません。
- ③ 鉄素材および亜鉛めっき素材への付着性に優れています。
- ④ 乾燥が速く塗装作業性に優れています。
- ⑤ 防錆力に優れています。

■色調

- グレー

■荷姿

- 16kg 石油缶、4kg 丸缶

■品質

項目	品質基準 (JPMS 28品質)	試験結果
容器の中の状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になる	合格
塗装作業性	はけ塗り作業に困難を感じない	合格
表面乾燥性	規定時間8時間までに表面乾燥状態となる	合格
塗膜の外観	見本品との差が大きくないこと	合格
上塗り適合性	上塗り作業および上塗り仕上りに支障がない	合格
付着安定性	上塗りとの塗膜間はがれがなく切り傷から1mm以上のはがれがない	合格
耐塩水性	3%塩水浸漬96時間で異常がない	合格
付着性	耐塩水性にてXカットからののがれが1.5mm以内	合格
屋外暴露耐候性	12か月で膨れ、はがれおよび割れがない	合格

塗装仕様

工程	エアスプレー	エアレススプレー	刷毛塗り
素地調整	脱脂等にて油脂分、錆び、ゴミ等の除去および必要に応じた表面処理を行う。		
塗料調整 ^{※1}	十分に攪拌し専用シンナーにて塗装粘度に希釈		
塗装粘度(岩田カップNK-2)	18～30秒	25～40秒	—
希釈率(外割重量%)	15～30%	10～20%	5～15%
塗装膜厚	25～35μm		
乾燥条件	乾燥方法 : 自然乾燥または強制乾燥 23℃乾燥時間 : 指触乾燥 = 10分以内 半硬化 = 15分以内		
適正上塗り塗料 ^{※2}	① 合成樹脂調合ペイント ② 弱溶剤ウレタン上塗り		
上塗り塗装間隔(23℃)	30分以上		2時間以上
理論塗布量	90g/m ² (30μm)		

※1 専用シンナー : シンナーKTプライマー用シンナー
Sシンナー#200 (冬期用)
Sシンナー#300 (春秋用)
Sシンナー#400 (夏期用)

※2 適性上塗り : 強溶剤の上塗り塗料を使用する場合は、事前にご確認ください

危険性

- ・ 有機則 : 第2種有機溶剤等
- ・ 消防法危険物 : 第4類第2石油類 危険等級Ⅲ

※ その他SDSを参照ください。

取り扱いに関する一般的注意事項

■調合

- 1 塗料開缶は原則として使用する直前に行い、開缶したものはその日のうちに使用するよう心がけてください。
- 2 塗料は使用する前に電動攪拌機等を用いて、十分攪拌を行い均一な状態にして使用してください。
- 3 他品種、他品名の塗料との混合は厳禁です。
- 4 希釈用シンナーは弊社指定のシンナーを用いて、希釈量は、規定量内でご使用ください。

■塗装

- 1 気温5℃以下、湿度85%以上のときは塗装禁止です。低温時には乾燥遅延となり高温では付着不良や塗膜外観不良が生じやすくなります。
- 2 被塗面に結露がある場合や塗装後短時間で降雨、結露が予測される場合の塗装は避けてください。
- 3 被塗物の表面温度が50℃以上の場合、塗装を避けてください。
- 4 被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。
- 5 コンクリート、モルタル、スレートなどのアルカリ系地には塗装をしないでください。
- 6 塗装中および塗料の取り扱いには必要な保護具(帽子、ヘルメット、保護メガネ、マスク、手袋など)を使用し、身体に付着しないように注意してください。
- 7 吸入に関する危険物有害性の表示がある塗料を塗装する場合は、局所排気装置などを設置し、作業時には有機ガス用の防毒マスクやエアラインマスクなどを着用して作業を行ってください。
- 8 塗装器具の洗浄にはラッカーシンナーをご使用ください。

■緊急時の対応

- 1 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 2 皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、出来るだけ早く医師の診察を受けてください。
- 3 蒸気、ガス等を吸入した場合には、清浄な空気の場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 4 飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 5 容器からこぼれた場合は布でふき取り、その布は水に浸した状態で容器に保管してください。
- 6 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。

■廃棄

- 1 自然発火の恐れがありますので、当該塗料が付着したウエスやダンボールなどの可燃物、塗料カス、スプレーダスト等は速やかに焼却処分するか、水に浸してください。
- 2 使用済みの塗料缶や塗料が付着したウエスや残塗料を廃棄する場合は、関連法規に従って産業廃棄物として廃棄してください。

■保管

- 1 残塗料は密封して冷暗所に保管してください。
- 2 子供の手の届かない場所に保管してください。
- 3 塗料の保管は関連法規を遵守してください。
- 4 容器はつり上げないでください。

※安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)を参照してください。
※ご不明な点に関しては、弊社お問い合わせ先までご連絡願います。



神東塗料

工場 尼崎・千葉

本社 ☎(06)6426-3355(代) FAX(06)6429-6188(代)
東京事業所 ☎(03)3522-2111(代) FAX(03)3522-2150(代)

◀製品に関するお問い合わせ▶

本社 ☎(06)6426-3763(代) FAX(06)6429-6268(代)
東京事業所 ☎(03)3522-1674(代) FAX(03)3522-1678(代)
名古屋事業所 ☎(052)612-0293(代) FAX(052)612-0318(代)
北海道営業所 ☎(0123)32-0431(代) FAX(0123)34-6199(代)
東北営業所 ☎(022)285-7915(代) FAX(022)285-7813(代)

静岡営業所 ☎(054)245-0135(代) FAX(054)247-4091(代)
北陸営業所 ☎(076)262-1305(代) FAX(076)262-1315(代)
中国営業所 ☎(082)264-6822(代) FAX(082)264-6821(代)
四国営業所 ☎(087)841-1251(代) FAX(087)843-3108(代)
九州営業所 ☎(092)472-2222(代) FAX(092)473-5777(代)
<http://www.shintopaint.co.jp/>